

令和8年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の定着を図る「学び直し」から、自ら考え判断し表現する力までを育み、普通科と美術科が相互に刺激し高め合うとともに持続可能な教育課程を編成、実施する。</p> <p>②「育みたい生徒像」を実現し、個に応じた学力を育成するためのICT活用を進め、組織的な授業改善を行う。</p> <p>③学校行事等とおして、協働する力を育む。</p>	<p>① 生徒の「できる」を伸ばす視点で支援を行うとともに、個に応じた学習指導を充実させる。</p> <p>②-1 インクルーシブ教育の視点による授業実践やICT活用を進め、組織的な授業改善につなげる。</p> <p>②-2 生徒が図書館を積極的に活用することができる体制を整える。</p> <p>③ 体育祭、文化祭、球技大会、生徒総会等の各学校行事について、生徒が主体的に企画運営できるように支援する。また、教職員間でも積極的に連絡調整を行い、学校全体で当事者意識を持って取組むことができる体制を整える。</p>	<p>① チームティーチング（T・T）等を活用してきめ細やかな指導を行う。</p> <p>②-1 T・Tや巡回等も活用し、授業についてこまめに情報共有を行う。</p> <p>②-2 学年クラスルーム等を用いて『図書館通信』を広く周知する。</p> <p>③-1 学校行事で身に付けさせたい資質・能力及び目標と評価の観点を設定する。生徒会本部役員と委員会、部活動等と連携を図りながら企画運営を行う。</p> <p>③-2 各グループから学校行事担当の教員を選出する。また、事前に全教職員で学校行事の要綱を把握する。</p>	<p>① 授業の振り返りや授業評価で、生徒が「できた」実感を得ているか。</p> <p>②-1 教科会や研修などをおして、実践事例の共有が行われたか。</p> <p>②-2 図書館を利用する生徒が増加したか。</p> <p>③-1 学校行事の生徒アンケートから生徒の要望に応えた活動ができたか。また、活動をおして生徒自身が成長を感じることができたか。</p> <p>③-2 学校行事の職員アンケートをおして、教員が当事者意識を持って学校行事の企画運営に携わることができたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①他者を認める寛容の精神と自らを律することができる自己管理能力を育てる。</p> <p>②生徒一人ひとりの課題に対するきめ細かな教育相談体制を充実・発展させる。</p> <p>③部活動・委員会活動やボランティア活動等とおして豊かな人間性や社会性を育てる。</p>	<p>① 基本的な生活習慣を定着させ、ルールやマナーを自ら守る生徒を育成するとともに、安全で安心な学校環境づくりを推進する。</p> <p>② 組織的な教育相談体制をさらに充実させ、生徒一人ひとりの内面に寄り添った、きめ細やかな支援を実施する。</p> <p>③-1 部活動への関心を高め、加入率の向上および部活動の活性化を図る。</p> <p>③-2 地域と連携し、積極的なボランティア活動の参加を促す。</p>	<p>① 教職員の共通理解を図り、組織的な生徒指導体制を整え、頭髪・服装等のルールや、登下校時の交通マナーについて丁寧な指導を行う。</p> <p>② 生活アンケートや子どもサポートドック等の結果を職員間で迅速に共有し、速やかにSCやSSWへの接続を図る。</p> <p>③-1 部活動勧誘を充実させるとともに、練習の様子や試合結果を学校HPに記載し、広報活動の充実を図る。</p> <p>③-2 ボランティア活動等を紹介・支援するとともに、受入れ先との連絡調整を密に行う。</p>	<p>① 指導の成果として問題行動が減少したか。また、生徒が自らの判断でルールやマナーを守り、他者に配慮した行動がとれたか。</p> <p>② 支援を要する生徒のニーズを正確にアセスメントし、個に応じた支援を組織的に行えたか。また、関係機関や専門家と効果的な連携・協働が図れたか。</p> <p>③-1 部活動加入率は向上したか、退部率は減少したか。</p> <p>③-2 ボランティア活動を行う機会を増やすことができたか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>①「未来に向けて自らをデザインしよう」をスローガンに、高い志を持って目標に向かい努力することによって自己実現を図る指導を行う。</p> <p>②美術科の専門性を生かした進路実現を支援する。</p>	<p>①-1 「総合的な探究の時間」の探究活動を充実させ、自己実現を図る態度を育成する。</p> <p>①-2 「アセスメントテスト(基礎力診断テスト)」を活用し、自己有用感の育成や進路実現に向けて支援する。</p> <p>②進路ガイダンスや分野ごとの説明会などの企画を充実させる。</p>	<p>①-1 探究活動の全体計画を提示し、見通しを持って活動させる。また、探究活動をおして、自ら問いを設定し、課題解決する力を養う。</p> <p>①-2 「アセスメントテスト」を活用し、自己理解が深められるよう支援する。成績が向上した生徒表彰等、自己有用感を高める取組を行う。</p> <p>②ガイダンスや説明会の事前学習を丁寧に行い、生徒の目的意識を明確にして企画を充実させる。</p>	<p>①-1 個々の探究テーマを設定し、主体的に探究活動に参加できたか。</p> <p>①-2 自身の進路実現に向けて、主体的な取組を始める生徒が増加したか。</p> <p>②個々の特性や専門に応じた進路ガイダンスや説明会を実施できたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>①地域と共にある学校づくりを行い、広い視野を持ち、地域に貢献することによって自己有用感を育む活動を充実させる。</p> <p>②地域やPTA等との連携を図り、安全・安心で信頼される学校づくりに取り組む。</p>	<p>①地域の清掃活動に取組み、地域に貢献する姿勢と、貢献活動を通じた自己有用感を育む。また、長年続いている穴窯の活動を今後も地域の特色として認知してもらう。</p> <p>②地域やPTA等と連携し、生徒が安全で安心して生活できるよう、環境づくりに取り組む。</p>	<p>①地域貢献デーや穴窯の実施について、自治会の回覧等を利用し、事前の周知や事後報告を行う。</p> <p>②地域やPTA等と連携して安全な自転車運転の呼びかけ等の活動を行い、実施後には活動報告を行う。</p>	<p>①清掃活動や穴窯焼成の周知活動を行い、活動自体の認知度を上げることができたか。</p> <p>②地域やPTA等と連携した交通安全の取組を行い、活動報告ができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教員が多様で複雑な生徒の課題に寄り添い向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p> <p>②在校生や中学生、保護者や地域に向けた情報発信を充実させる。</p> <p>③事故・不祥事の根絶を図る。</p>	<p>①ワークライフバランスの実現を目指し、働き方改革を推進する。</p> <p>②在校生、保護者等のみならず、中学生や地域に向けて分かりやすくタイムリーな情報発信を行う。</p> <p>③不祥事ゼロプログラムに基づいて職員全体で継続的な不祥事防止対策を実施する。</p>	<p>①-1 グループ業務の見直しと業務分担の適正化を図る。 ①-2 時間外在校時間を縮減する。</p> <p>②本校の教育活動について、HPでは分かりやすく、またSNSを活用してタイムリーに情報発信を行う。</p> <p>③不祥事防止研修会を充実させ、職員全体が不祥事防止について当事者意識を持って行動する。</p>	<p>①-1 業務削減と業務分担の適正化を行えたか。 ①-2 時間外在校時間を前年度よりも縮減できたか。</p> <p>②外部の視点に立って、HPやSNS等を利用して、分かりやすくタイムリーな情報発信ができたか。</p> <p>③風通しの良い職場づくりと不祥事防止の当事者意識の向上が図られたか。</p>